

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/02/01 ～2018/02/28)

1. 勉学の状況

留学を残り2ヶ月と少しになりました。今月はあまりタフな授業はなかったように思います。今回は今月から始まった”Theory and Practice of Teaching Foreign Languages to Young Learners”について書きます。

◎Theory and Practice of Teaching Foreign Languages to Young Learners

この授業は名前の通り、young learnersに対してどのようにして外国語を教えるかを考えていくもので、自分たちで授業計画を立てたり付属の小学校に授業見学に行ったりします。前回の授業で今までやったことのないアクティビティをやったので、それについて書きたいと思います。そのアクティビティは”This is how I look as a learner of English”と”My English lesson in the year 2020”というタイトルで自分自身についての絵を書きなさいというものでした。フィンランドのユヴァスキュラ大学で行われた調査で、これを行うことによって、言語学習において自分が何を重要視しているか、どのような環境でどのようなものを使って学習してきたのかをビジュアル化できます。私はナミビア人・日本人とペアを組み、お互いの絵について説明し合いました。”This is how I look as a learner of English”については、やはり日本人組は机に座って本を読んだり英語を書いたりしていて、ほぼ同じ絵でした。それに対してナミビア人は、机や椅子、その他学習教材ですら書いておらず、ただ楽しげな人が書いてあるだけでした。彼女に話を聞くと、英語の勉強は楽しくやっていたからこの絵を描いたんだよと言われ、日本人でこのような絵を描く人はなかなかいないだろうなと感じました。調査の結果によると、69%はその人ひとりだけを書き、クラスの中での学習環境を描く人は少なかったそうです。また、65%はlearning materialとして本を選んでおり、これらについては日本も似た結果になるのかなと感じました。”My English lesson in the year 2020”は、自分が教師になった時にどのような授業をしているかを想像して絵を描くというものでした。これについては、教師が生徒たちの前に立っているという一般的なクラスルームが書かれることが多いそうなのですが、フィンランド特有とも言える絵を描いた生徒もいるということで紹介されていました。ナショナルコアカリキュラム（日本でいう学習指導要領）の中に”phenomenon-based learning”というものが近年取り入れられたのですが、テーマ別学習のことで、教科の垣根を超えてあるテーマについて自分たちで学んで行くというものです。それを反映させた絵があり、例えばキッチンで英語の授業をするというものでした。より普段の生活に則した授業を提供することで、教室内とは違うコンテキストの中での英語の使い方がわかるし、何より楽しみながら英語を学ぶことができるという利点があると思います。日本はクラス人数が多いのでなかなかこれを適用するのは難しいとは思いますが、参考にして日本にあった形で取り入れる方法を考えてみたいと思いました。

2. 生活の状況

◎ヨエンスーについて

やはり二月は今までで一番寒く、何度も-20度以下を経験しました。しかし晴れの日も多くなり、またかなり日照時間が伸びたので自転車通学を再開しています。一度ニット帽をしないで自転車で帰ったところ、耳が軽い凍傷になってしまいました。かなり怖い経験をしたのでこれからは気をつけます。これからは雪が溶け始めて逆に危ない時期が来ると思うので、気をつけながら生活したいと思います。

◎初めての体調不良

小見出しの通り、今月初めて体調を崩しました。電車が1時間遅れたため寒い中外で待っていたせいだと思います。3日間39.5度出ていたので、おそらくインフルエンザだったのではないかと思います。病院にも行こうと思ったのですが、調べたところによると、病院に行ってもインフルエンザ用の薬はもらえず、咳止めくらいしかないということでしたので、自力で治しました。この体調不良のせいで一週間休んだため、プレゼンテーションを一つ休んでしまい、未だフィンランドに来てきちんとしたプレゼンテーションをやれていないので、次の授業は絶対に参加しようと思います。

◎フットサル

相も変わらず毎週フットサルをしています。未だ負けなしで、グループ1位をキープし続けています。今月はキャプテンをやらせてもらうという貴重な経験をしています。とはいっても、フィンランド語が話せないので結局キャプテンらしいことはできていないのですが。(笑) チームメイトともっとコミュニケーションが取れるように、これからもよりフィンランド語の勉強をしていきたいと思っています。